



おやこつうしん

岐阜市子ども・若者総合支援センター
“エールぎふ”親子教室
1歳児 令和2年11月

散歩へ出かけよう♪

親子教室では、子どもたちがマットの坂の登り降りを繰り返したり、ふわふわなマットの上をピョンピョンとジャンプしたり、身体を使って遊ぶ姿がみられます。身体を動かしながら、バランスの取り方や、力の入れ方、距離感など様々な動きを試し、変化を感じることを楽しんでいます。



散歩(歩くこと)も身体を動かせる大切な機会です。ふわふわしている草道や、でこぼこしている砂利道、雨上がりのつるつるした道、坂道など室内ではできない姿勢で歩いたり、感触を味わったりすることは、大冒険です。段差や縁石を見つけた時は、登ったり降りたりして、自分の身体の使い方を知っていきます。時にはつまずいたり、しりもちをついたり、「あぶない!」と思うこともあるかもしれませんが、見守りつつ危険を回避してあげましょう。



子どもの発見に気付こう♪

親子教室では、部屋の窓から、飛んでいる鳥や工事現場を興味深々で見ている姿がよく見られます。戸外には、室内では見られない物や自然があふれています。子どもたちは外に出て、間近で大きな働く車を見て驚いたり、道端の草木を触って感触やにおいを感じたりすることで、興味や関心を広げていきます。子どもは動画や写真で見たことを、実体験することで本当の理解をしていくのです。散歩中、突然立ち止まったり、しゃがみこんだりすることがあります。そんな時は、大人が子どもの目の高さになると発見に気がきます。「ショベルカー大きいね」「落ち葉を踏むとカサカサするね」などと子どもの発見と一緒に感動したり、驚いたり、子どもの気持ちをことばにして伝えてみましょう。時には、「どんぐりあったよ」「お花いいにおいだよ」などと、大人が発見したものを子どもに伝えるのもいいですね。身近な大人との伝え合いの中で、分かることばや、やりとりする力が育っていきます。



定番コースをつくらう♪

親子教室では、お馬の親子や一本橋こちょこちょなど、毎回取り入れている活動があります。何をやるのか分かってくると、期待をする姿が出てきます。散歩も定番コースを作ることで見通しがつき、「今日もお花咲いてるかな」「いつものワンちゃんいるかな」など、いつも出会えるものに対する期待感も膨らみます。大人に比べて知識や経験が少ない子どもは、分かることや知っていること、見通しを持てることが、自信や意欲に繋がっていきます。



「この子は何を見ているのかな」「どんなことを考えているのかな」などと考えながら、ゆったりと散歩で親子のふれあいをしてみましょう。